

崇城大学薬学部カリキュラムフロー

教育研究上の目的：医療の高度化に対応できる臨床能力に優れた薬剤師を養成し、人類の健康の維持と疾患の治療に役立つ生命科学研究を行う

カリキュラムポリシー	科目群	1 年次 医療人としての 自覚を培う	2 年次 薬学の本質に迫る	3 年次 基礎薬学を 臨床につなぐ	4 年次 専門知識の 応用を養う	5 年次 病院・薬局で 実習に取り組む	6 年次 薬剤師としての 総合力を養う	学習アウトカム ^(注)	ディプロマポリシー ^(注)
問題発見・解決能力を養うために、PBL(Problem Based Learning)学習、実習および卒業研究を充実させます。	薬学研究科目				総合薬学研究 I		総合薬学研究 II ▲		
	薬学総合科目					専門研究演習 ☆			
高度な医療と健康増進、公衆衛生の向上に対応できる能力を養うために、医療系科目を充実させます。	医療系臨床科目		臨床検査化学 I・II・III	感染症予防学	薬事関連法規	臨床薬理学 I・II	臨床薬理学 III * 救急救命医学 *	OC1-1 薬剤師としての専門的な知識を常に修得し、これを医療に应用する能力を身につける。(医療系臨床関連)	DP1 薬剤師としての高度な知識を修得したものの。
	医療系基礎科目薬剤領域		薬物動態学 I・II	薬物投与設計学	製剤学 I・II	製剤学 III		OC1-2 薬剤師としての専門的な知識を常に修得し、これを医療に应用する能力を身につける。(医療系基礎薬剤関連)	
	医療系基礎科目薬理領域		薬理学 I・II	薬理学 III・IV	応用薬理学			OC1-3 薬剤師としての専門的な知識を常に修得し、これを医療に应用する能力を身につける。(医療系基礎薬理関連)	
	公衆衛生科目		衛生薬学 I	衛生薬学 II	環境衛生化学 公衆衛生学	衛生薬学 III		OC4-1 地域の保健・医療、行政等に参画、連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を身につける	DP4 地域の人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献できるもの。
学習成果基盤型教育(Outcome Based Education)に基づいて、効果的な学習ができるように科目を編成します。	生物系薬学科目	薬学基礎生物学	生化学 I	生化学 II	基礎免疫学	分子生物学	バイオ医薬品学 *	OC2-3 医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療領域における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける。(生物系)	DP2 科学的思考にもとづく問題発見・解決能力を有するもの。
		細胞生物学	微生物学 I	微生物学 II					
	化学系薬学科目	解剖学概論	機能形態学			生化学実習 微生物学実習			
		薬学基礎化学・演習	有機化学 I・II	有機化学 III	医薬品化学	医薬品合成化学	生物医薬化学 I 生物医薬化学 II	プロセス化学 *	
物理系薬学科目	薬学基礎物理学・演習	物理化学 I	物理化学 II・III		放射線薬学	創薬概論		OC2-1 医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療領域における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける。(物理系)	
		分析化学 I	分析化学 II	機器分析学					
人間性・倫理観を養うために、教養・倫理教育を継続的に実施します。	薬学教養科目	薬学概論	生命倫理学	早期体験学習	コミュニケーション論	看護福祉概論	医薬倫理学 日本薬局方概論 * 医療経済論 血清製剤学 *	OC3-1 患者・他の医療職から信頼される薬剤師に相応しい高い使命感、責任感、倫理観ならびにコミュニケーション能力を身につける。	DP3 医療人としての豊かな人間性と高い倫理観を身につけたもの。
		基礎情報処理演習	薬学基礎数学・演習						
	英語科目	イングリッシュコミュニケーション I・II	イングリッシュコミュニケーション III・IV		基礎科学英語	薬学英語	実用薬学英語 *	医学英語 *	
	一般教養科目	キャリア教育科目 *	キャリア教育科目 *						
		人間と科学科目 *	人間と科学科目 *						

* 選択科目 ☆ 1科目選択必修 ▲ どちらか1科目選択必修

注) ディプロマポリシーと学習アウトカムの関係は次ページの黒枠内を参照

薬剤師
国家試験